

協会ニュース

令和4年3月 日

中国地区品質経営協会

広島市西区横川町3丁目5番9号(世良ビル404号)

TEL (082) 532-6844 FAX (082) 532-6845

e-mail qmac@a1.mbn.or.jp URL <http://qmac.jp/>

令和3年度第3回シンポジウム「市場創造と技術革新」

開催日時 : 令和4年2月24日(木) 13:20 ~ 17:00

場 所 : 広島商工会議所ビル307会議室より各会員会社にWeb配信

参加者 : 28企業・団体 351名

令和3年度第3回目のシンポジウム「市場創造と技術革新」は、昨年に続きDX(デジタルトランスフォーメーション)をテーマとし、当協会会員である日本規格協会様のご協力によりWeb配信により開催しました。

「DX」という言葉は既に国内外で定着し、その概念や必要性、先進事例等についてもさまざまな媒体を通じて紹介されていますが、経済産業省による「DXレポート」では企業のDXが十分に進んでいないことが指摘されており、また、昨年のシンポジウムを聴講した会員企業様からも、地場の製造業として参考になるような講演をしてもらいたいという声も頂戴していました。

そこで、今回のシンポジウムでは、地元広島を中心にDX推進に取り組んでおられる講師2名をお招きして、製造業におけるDXの必要性や進め方のポイント・留意点等について講演を頂きました。

第一部の講演では、株式会社エネルギー・コミュニケーションズ 専務取締役ソリューション事業本部長 上田博之様に『DXに関する最新の技術動向と活用事例』と題した講演をしていただき、DX成功の秘訣・5つのポイントについて具体的に分かり易く説明いただくとともに、具体的な導入事例も紹介していただきました。

第二部の講演では、マツダ株式会社 本社工場 工場長で、広島経済同友会 ものづくり委員会 委員長を務めておられる向田光伸様に『「輝くものづくりを極め続ける広島」を目指して』と題した講演をしていただき、日本および広島のものづくりの現状と課題、進むべき方向性、デジタル化の必要性等、リモートによる教育・実践活動等について説明していただきました。

お二人のご講演後、当協会の運営委員長である広島工業大学 学長 長坂康史先生のコーディネートによるパネルディスカッションを行いました。

事前に寄せられていた参加者からの質問に講演者が回答することで、講演内容の深掘りや講演中には触れられなかった内容なども話題に上がり、参加者の理解もより深まったのではないかと思います。

当日は、351名と多くの方に参加頂きました。アンケート結果では、「現状に危機感を抱くとともに、その解決策としてDXの必要性がよくわかった」、「DX成功の秘訣・5つのポイントはいずれも実感できるもので大変参考になった」等の感想が寄せられており、有意義なシンポジウムとなりました。



(株)エネルギー・コミュニケーションズ
上田様



マツダ(株)
向田様



広島工業大学 学長
長坂先生